

平成24年度より、横浜市立小・中学校では、全142ブロックで「横浜型小中一貫教育」が全面的にスタートしました。「横浜型小中一貫教育」とは、敷地や校舎を共有するなどの物理的な条件に関係なく、小中学校教職員が情報交換や連携をして義務教育9年間の連続性を図った小中一貫カリキュラムに基づく教育活動を推進することです。このことによって、子どもの学力の向上や児童生徒指導上の課題の解消を目指します。

横浜型小中一貫教育 **金沢中ブロック** は...

金沢中学校・文庫小学校・金沢小学校・八景小学校・釜利谷東小学校で構成しています。

小中一貫教育推進ブロックにおける

「9年間で育てる子ども像」と具体的取組

- 「コミュニケーション能力」と「課題解決のために協力する力」の育成
- 他人を思いやり、地域社会に貢献できる児童生徒の育成

具体的な取り組み

- 小学校美術作品展への中学校作品の出展
- 中学校吹奏楽部と小学校とのジョイントコンサート
- 教科・領域の小中意見交換
- 中学校土曜授業参観
- 児童生徒交流会
- 小学校 市体育大会 陸上競技の指導（中学校陸上競技部顧問）



金沢中ブロック

小中一貫教育 取組の一部を紹介します。

○合同授業研究会

各学校がカリキュラムの見直しや授業改善を行い、生徒たちの学力向上を図っています。



基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力判断力・表現力の育成を目指しています。

○児童・生徒交流

児童・生徒交流日では、授業見学・生徒会オリエンテーション・3年生合唱・平和スピーチなどの披露、部活動の見学などを行っています。小学校児童からは好評いただいています。

